

聖愛



五月号
原町聖愛保育園

二〇〇九年五月一日発行

新しい保育室や環境にも慣れ、新人児も園庭のこいのほりのように元気に友だちと遊べるようになりまして。園庭には、子ども達の興味をひく虫や、草花が咲き誇り、目を楽しませてくれます。自然の気持ち良さを存分に味わいながら過ごしたいです。

睡眠は生活リズムの中心

つぼみ組の子どもたちは、給食の途中で眠くなる子どもも多く、ご飯粒だらけの顔をテーブルにつけて寝てしまつてことがあります。保育士は何とか食べてもらいたいと、うつらうつらしている子の口元に食べ物を運び、気を引くような声掛けをしています。保育士も本人も眠気には勝てないようです。食べることも大事ですが、このようなとき特に小さいクラスの子どもは、生理的に欲求している寝ることを優先させます。

生活のリズムを整えるには、まず睡眠のリズムを整えることが大事で、「生活リズムの中心は、睡眠のリズムを整えること」、と小児科医もいっています。

今は大人の生活が夜型になって、子どももその影響を受けています。寝るのが遅いと朝起きるのも遅くなり、機嫌よく目覚めることもできません。遅くなったからと無理に起こせば、泣いたりぐずったり、ぼんやりしていたりで結果、せかされ、怒られ、進んで身支度をして（してもらって）やるべきことをスムーズにやる（やってもらって）どころではなくなっています。

ある調査で、一歳から四歳までの子どもの半数くらいが、夜の十時以降に寝ているという結果報告もあるようです。大人は身体が出来上がり自律神経系も安定するので、多少リズムが乱れてもある程度の無理は利きますが、子どもはそうはいきません。睡眠は安定した成長の鍵となりますので、大人の都合で乱すことがないように気をつけましょう。

お父さん、触れ合いたい、からと夜遅くに帰って、眠っているお子さんを起こすようなことはありませんか？ お母さん、お父さんが帰るまでいいよ、と、遅くまで遊ばせたりテレビを見せたりしていませんか？ 遅くても、八時ごろには寝かせるようにしましょう。

食べる・遊ぶ・眠る。子どもは、これらが毎日規則正しく繰り返されて、成長や生活をするときの軸となるリズムができます。睡眠が十分にとれていれば体調も崩さず、日中活発に遊ぶことができ、活発に遊べばおなかですいて食事がおいしく食べられます。夜も早くに眠くなります。家庭でも子どもが布団に入る時間を、約束事として決めて守るようにしましょう。子どもがこのことを習慣として身につけるために、約束を守って実行するには、親の配慮（寝付くまでテレビを消す・傍にいるなど）が必要で、大事です。

園長 遠藤美保子

5月の保育目標

主題 0、1、2歳児「安心して」 3、4、5歳児「であう」

暗唱聖句 「心の目を開いてくださるように。」 エフェソの信徒への手紙 1章18節

	保育目標	活動	保育者の配慮
てんし 0歳児	・戸外で風や光を浴びて過ごすことで、心地良さを感ぜられる。	・砂場 ・外気、日光浴 ・ハイハイ、伝い歩きを促す遊び ・散歩（園外） ・布、バスタオルを使った遊び	・一人ひとりの体調に十分に留意しながら、戸外に出る時間を少しづつ多くとり、機嫌良く過ごせるよう配慮する。 ・保育者との触れ合い遊びを通して、ハイハイ、伝い歩きなど体を動かすことを促す。
つぼみ 1歳児	・保育者と関わりながら体を動かすことを楽しむ。	・マット遊び（マットの山登り）（マットの上でゴロゴロ） ・散歩（歩く、草花に触れる） ・バスタオル遊び ・新聞紙遊び	・ハイハイ・歩く・登るなど、足腰を使う遊びに誘いかけ、十分に動けるように保育者も一緒になって行う。 ・疲れなどから体調を崩しやすくなるので、保護者との連絡を密にとりながら、健康管理に十分気をつける。
はな 2歳児	・保育者が寄り添い、園生活を安心して過ごす。 ・保育者と一緒にやってみる。	・散歩 ・三輪車（スクーター） ・サーキット遊び ・砂場 ・花、虫、葉っぱ探し ・なぐりがき ・粘土	・子どもが自ら見つけたり、自然の中で見つけたものに触れたりして楽しめるように心がける。 ・友だちとの簡単なやりとりを見守り、場の流れを壊さないようにする。 ・保育者と一緒にやってみて、出来たことを喜び合えるようにする。
ファミリークラス	・好きな遊びを見つけてやってみる。	《室内》 ・クレヨン画（3才）※1 ・パンダー作り（3,4,5才）※1（ちぎる、貼る、切る） ・にじみ絵（水彩）（3,4,5才）※3 ・機織り（5才） ・押し花（カード作り）※5	・製作中は、自分で発想を膨らませて描けるよう見守る。また、用具を正しく使えるように個々にあわせて指導する。※1 ・保育者や年上児のやっている姿を見て、「やってみたい」という思いを引き出せるようにし、真似て楽しむ経験を大切にする。※2
	・色々な遊びに関心や期待をもって取り組み、楽しむ。	《戸外》 ・しっぽ取り鬼、両足跳び（3才）※2 ・歩く、走る、スキップ（4才）※4 ・友だちと歩く、リズムに合わせて歩く（5才）※6	・筆の使い方を知り、繰り返し行う中で、色の混ざりの不思議さを感じられるように提供する。※3 ・楽しみながら取り組めるよう、線に沿って歩く、走るなどの環境を整え、遊びながら全身運動を促すようにする。※4
	・様々な物や人との出会いに感謝して、物事に取り組む。		・神様が作ってくださった自然に触れ、恵みに感謝し、美しさや不思議さを感じられるような機会を設け関心を促すようにする。※5 ・互いの存在を意識しあい、友だちと一緒にいることに喜びを感じられるよう提供の仕方を工夫する。※6



◎5月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
3(日)	憲法記念日(休園)	
4(月)	みどりの日(休園)	
5(火)	子どもの日(休園)	
6(水)	振替休日(休園)	
7(木)	家庭訪問(29日まで)	職員会議
8(金)	野菜の苗植え	
11(月)		構造化会議
12(火)	しゃりん梅訪問(ほし)	聖書研究めぐみの会
13(水)	子育てサークル(ブーさんG)	ケース会議
14(木)	ポップコーン(クラブ活動)	保育士部会
15(金)	食育「キッズの話」 久米本先生指導	
19(火)	合同礼拝	聖書研究タラントの会
20(水)	子育てサークル(レイン-G)	マネージャー会議
21(木)	小人さんの音楽会	
22(金)	しゃりん梅訪問(ほし)	キリスト教保育連盟総会 (~23日)
25(月)	お弁当の日	園内研修
26(火)	世代間交流自己紹介訪問(つき)	
27(水)	久米本先生指導	給食会議
28(木)	ポップコーン(クラブ活動)	
29(金)	避難訓練 尿・ぎょう虫卵検査(全員)	
30(土)		第24回福島県保育研究大会

《野菜の苗植え》

日時 5月8日(金) 9:00~
場所 原町聖愛保育園 畑
準備物 長靴、スモックなどの汚れても良い服(つき組は前日に畑の畝作りをしますので、7日に持たせてください。)
※つぼみ組、はな組は保育室前に作ったミニ畑に苗を植え、野菜の生長を自由に観察できるようにします。

《しゃりん梅訪問》 毎月1~2回 ほし組

デイサービスセンター「しゃりん梅」を訪問し、童謡を歌ったり、一緒に遊んだりしながらお年寄りの方々と交流をしてきます。訪問した子ども達は、みな満足そうな笑顔で帰ってきます。世代間の交流で子ども達の心を更に豊かに育てていきます。

《小人さんの音楽会》 毎月1回

ファミリークラスを対象に、昔から歌い継がれてきた童謡や季節の歌などを中心に、歌ったり聴いたりします。「歌う」楽しさを味わうだけでなく、「聴く」ときの態度なども身につけていきたいと考えています。



みさわ まち子先生(ピアノ・歌)
たかの すみ先生(オーボエ)
が、素敵な音色を聴かせてくださいます。

《避難訓練》 毎月1回

火災や地震を想定し、安全に避難できるように練習をします。避難場所を確認したり、避難する時の心構えを身につけたりします。昨年度の地震が起きた時には、保育者の指示を聞き、素早くテーブルの下にかくれることができました。

様々な状況の中でも、慌てず安全に避難できるよう心構えをしておく必要があります。

今年度も、保護者の方々と一緒に行う引き渡し訓練や、地域の方々の協力を得ての総合訓練、防犯訓練を予定しています。

今月の暗唱聖句 「心の目を開いてくださるように。」

私たちは肉眼で見える物を信じ、見たことで判断しがちです。しかし、『心の目』でなければ見えないものもあります。

笑っているから「楽しい」、泣いているから「悲しい」とは限りません。笑顔の裏に見えない感情があります。「ごめんね」を言いたけれど言葉にできない・・・しかし、心の中ではちゃんと言っているのかもしれない。

表情や言葉には表わさなくても、様々な感情や想いがあることを察して対応できるのが『心の目』で見ることです。

神様が私たちの全てを見ていてくださるように、私たち大人も、子どもたちの心の内をしっかりと見て、いつも『心の目』を開き、その目で見て感じる事が大切です。

クラブ活動 『ポップコーン』 ファミリークラス対象

*クレヨンクラブ(造形・絵画)

*葉っぱクラブ(自然体験)

*トライクラブ(運動遊び)



自分でやってみたいクラブを選び、一年間楽しく遊びます。一年ごとに違うクラブを体験する子や、三年間同じクラブを続ける子とそれぞれですが、毎月1~2回のクラブをととても楽しみにしています。普段の遊びとは違う、新しい経験や発見をしながら子ども達が自主的に取り組み、楽しめるように考えています。

異年齢・世代間交流事業

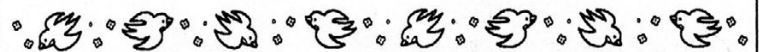
ファミリークラスを対象に、卒園児や近所のお年寄りの方と触れ合う機会を設けています。

小学生になった卒園児は、少し照れながらも懐かしそうに遊びに来てくれます。また、世代間交流会では優しいおじいさんおばあさんに甘えたりお喋りしたりしながら、とても自然な触れ合いの時間を過ごしています。

今月は、近所のお年寄りの方々に「一年間よろしくお願ひします」と、自己紹介カードを届けに行きます。子どもたちのことを知っていただくと共に、昔ながらの文化や知恵を教えていただいたり、地域の方々と協力・連携を取りながら、より良い保育をしていきたいと思っています。

家庭訪問 5月7日~29日 全家庭

日頃お話し出来ないことやご家庭での様子をお伺いし、また、保育園での様子などをお伝えして、ご家庭と一緒にお子様の成長について考えたいとおもいます。



◎送迎時のお願い

- *朝や帰りの送迎時は駐車場も混雑し大変危ないので、子どもだけを車から降ろしたり、駐車場に行かせたりしないようご注意ください。特に朝は皆さん忙しく、急ぐ方も多いです。駐車場の出入りをスムーズにできるようご協力をお願いします。
- *保育園正門前と教会側門前は、緊急車両の出入り通路ですので、駐車をしないようお願いします。
- *安全・盗難防止・環境保護の為にエンジンを切り、鍵をかけてください。

◎お知らせ

- ・尿、ぎょう虫卵検査~容器とピンテープを27日に配布します。提出日は29日ですので忘れないようにしてください。また、当日、病気や都合で欠席される場合は、朝10時まで園に届けてくださるようお願いいたします。

- ・午睡用布団類の持ち帰りは、1日(金)・22日(金)です。